



学校だより

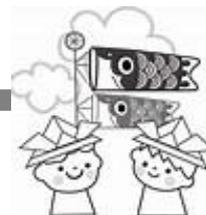
くんとう

令和3年4月25日(日)

薫陶

一人一人が生き生きと力を伸ばす

かほく市立七塚小学校
校長 宗廣 進一



がんばりを生むもの、支えるもの

「265名、一人一人が生き生きと力を伸ばす七塚小学校」の旗印を掲げて令和3年度がスタートし、3週間がたちました。七塚小学校の子ども達一人ひとりには、集団の中で伸び伸びと自分の個性を發揮しながら人間力を高めていって欲しいと願っています。そのために、「個々が他を尊重し、他から認められる力」を高めるための徳育や、「早寝早起き・朝ご飯や食事のバランスなど自分の健康・体力を向上させる意識を育てる」保健体育も、知育と同じように重視し、知・徳・体の力をバランスよく育み、自己肯定感を高めていくことが大切だと考えています。また、自分の目標や夢を持つことが、今を精一杯生きる気持ちを生み、自分を支えてくれる周りの人たちに感謝する心を育むことにもつながるのではないのでしょうか。

さて、競泳の池江璃花子選手は白血病による闘病生活から想像を絶する苦しみを乗り越えて、1年7カ月ぶりに競技に復帰し、この春の日本選手権では、出場した4種目全て優勝し東京オリンピック代表を決めました。このニュースに、彼女の信じられないほどの精神力に驚かされ心が震えました。また、池江選手の精神力の強さの陰には仲間や家族などとの心のつながりがあり、それに支えられてがんばってこれたことを知りました。池江選手の、「応援して下さった方々、そして家族には感謝の気持ちでいっぱいです。」「決まったからにはしっかりと自分の使命を果たさないといけない。全力でチームに貢献したい。」などの言葉からは、支えてくれる周りの人たちへの感謝の気持ちがあるからこそそのがんばりを感じました。また、「自分の最高の力を発揮するために、昼と夜には栄養士が作った弁当を食べ、早寝早起きを徹底した。」「自分をほめてあげたい。」という言葉からは、夢や目標の実現に向けて自分の限界に挑み、能力を最大限に発揮する決意と行動力、それを支える自己肯定感の強さに恐れ入りました。

七塚小学校でも子ども達のために教職員が心をひとつにして、家庭や地域とともに力を合わせて取り組んでいきたいと考えていますので、何卒、宜しくお願いします。



資源回収中止のお知らせ

PTA 主催の資源回収ですが、拡大傾向にある新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、PTA 協議の結果、中止とすることにしました。子ども達のために新聞紙等を貯め置いてくださっているご家庭におかれましては、昨年度に続く中止で誠に申し訳ありませんが、感染防止のこととご理解いただきますようお願いいたします。また、秋に予定の資源回収については今のところ実施予定です。(ただし、感染状況によっては、予定が変更になる場合がございます。)

また、間もなくゴールデンウィークに入りますが、ウイルスに粘り負けないように、私たちのこれまでの努力や医療の最前線で戦っている方々の奮闘を支えることができるように、お互いに声かけ合ってまたもうひと踏ん張りして、乗り越えていきましょう。